

た。即ち我等の意見によればその態度を慎重にし正式なる準備協談会に入る前に各組合が政治組織の基礎条件につき腹藏なく懇談を重ねる必要があると述べたのである。幸にこゝ秋等の意見は會合の容るる所となつて、今後斯くの如き意味の懇談会を催すること、なり懇談の議事は左の如く進行した。

一 全員一致を以て左の申合せをなし、各自之に署名した。我等は無産政治家樹立のために隔意なき了解の下に協同一致の努力せんことを期す。

二 次回以後の懇談会に左の四体を勧誘することと決定した。自治会、海軍聯盟、此の時、西尾龜四より評談會勸誘の責任あり、海軍聯盟、此の時、西尾龜四より評談會勸誘の提議あり、懇談会に務つたから、遠慮するとの申出があり、政治組織に支障を來すから、遠慮するとの申出があり、面居の案は撤回となつた。

一 団体勸誘の世話人を次の如くした。

東京方面 農民組合 総同盟 製陶 労働組合 聯合
 中部 農民組合 海軍聯盟 官業労働 総同盟
 海軍聯盟 農民組合 官業労働 官業労働 官業労働 官業労働
 本會の名跡を無産政治準備懇談會とした。

二 次回の會合を次の如く決めた。日時二月十三日頃。

三 場所 東京 出席人員各団体一名、世話人、農民組合 総同盟

以上

○ 却に於て第二回懇談会は二月十三日、東京五反田玉姬俱樂部
 1. 議題の性質

▲ 第二回懇談会 ▲
 二月十三日、東京五反田玉姬俱樂部